

乳房炎に注意しましょう！

例年に比べ、乳房炎の発生が 増加しています！

今年は雨が続き、牛床が乾きにくく、大腸菌などの腸内細菌の温床になりやすくなっています。

更に、夏の暑さで消耗し、体力が低下した牛には、これからの季節の寒暖差は要注意です！

腸内細菌による乳房炎を予防するには・・・

✓牛床の菌数を減らす

→牛床の消毒

→敷料に石灰を混ぜる(3~5%)

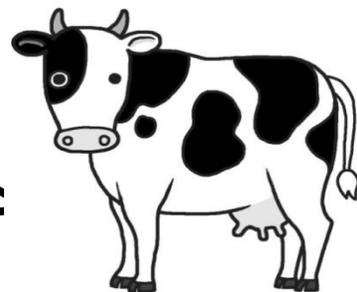
(※使用は混ぜてから約1日おいてから)

→こまめな敷料交換(特に乳房付近は厚く)

→牛床の戻し堆肥は必ず**完熟堆肥**を使用！

✓乳頭にやさしい搾乳

☆乳汁性状や、全身症状を常に把握し、
乳房炎の発症予防につとめましょう



－乳房炎検査用乳汁サンプル採取は無菌的に－

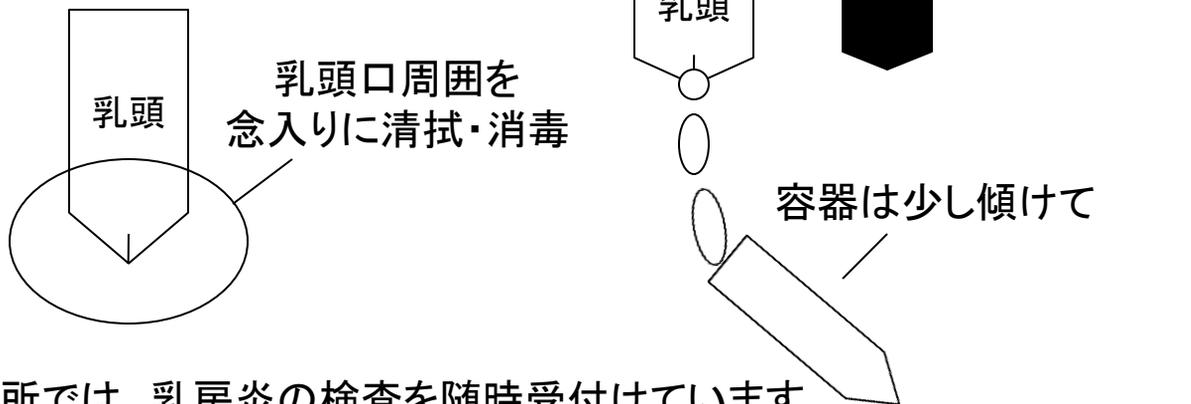
乳房炎の原因菌検索は、無菌的に採取した乳汁サンプルを微生物学的に培養し、その結果を読み取ることで知ることができます。検査した結果、多数の細菌が増殖することがあります。これは、無菌的に乳汁サンプル採取がされておらず環境常在菌が混入した可能性が考えられます。

無菌的な乳房炎検査用乳汁サンプル採取方法について

<注意事項>

- ★きれいな手で採取してください。
- ★治療前の乳汁を採取してください。抗生剤投与後のサンプルでは正確な検査結果が出ません。
- ★搾乳後の後搾り乳を採取してください。

- 1 乳頭をアルコール綿等で十分清拭・消毒。
- 2 数回搾った後に滅菌された容器に乳汁を採取。
※この際直接乳汁、ふた、容器内部に触れないよう注意!!
- 3 ディッピング。
- 4 すみやかに冷蔵もしくは冷凍で保存。
- 5 冷蔵状態で当所に搬入。



- 当所では、乳房炎の検査を随時受付けています。
- 乳汁採取用滅菌容器を必要とされる方は当所にご連絡下さい。
- 検査結果が判明するまでには3日間程度を要しますのでご了承下さい。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX 32-9019 E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp

ご不明な点は、市町村担当者、獣医師もしくは家畜保健衛生所までご相談ください。